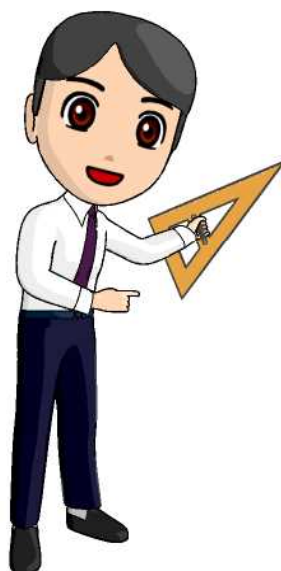


教師用

**中学校版
特活力テスト**

<活用マニュアル>



1. 特活力テストとは
2. 特活力 評価の観点（3領域8観点）
3. 学習指導要領の内容とテスト問題の対応
4. 実施・集計方法
5. 展開案
6. 問題文、各問題の配点、解説
7. 配付資料等

1. はじめに

生徒が特別活動に主体的に取り組めるようになるには、生徒が「なりたい自分の姿」を具体的にイメージし、目指すべき姿を明確にしたり、保護者に子どもの成長した姿や伸ばしたい力を明確に還元することで、家庭での支援を促していく必要があります。

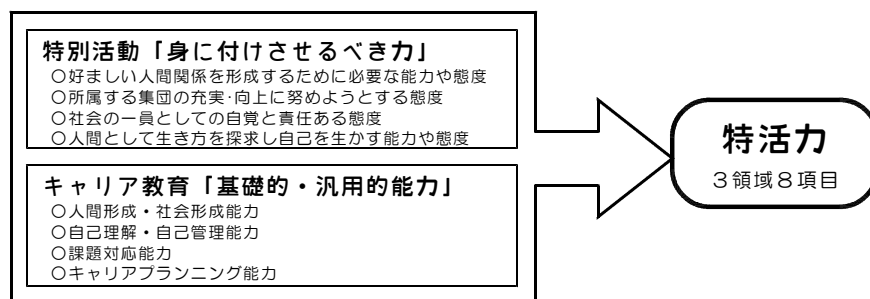
しかし、学校現場では、Q-UテストやC&S質問紙のように、集団の雰囲気や人間関係に関わる力を計るためのテストは多く使われているものの、生徒自身が特別活動で身に付けるべき力をどれだけ身に付けているかを客観的に把握し、「なりたい自分の姿」をイメージしたり、結果を家庭に還元することのできる資料があまり使われていません。そのため、教師は、生徒が主体的に特別活動に取り組むようになるための指導をすることが難しい現状にあります。

中学校版「特活力テスト」は、生徒が簡単な意識調査と自己評価をもとに、学校生活における「今の自分の姿」と「理想の自分の姿」を比較し、振り返りを行うことで、生徒自身が特別活動で身に付けるべき力をどれだけ身に付けているかを客観的に把握することができます。また、この結果を生徒が家庭に持ち帰ることで、子どもの成長した姿や伸ばしたい力を保護者に対して明確に還元し、支援を促すことができる指導資料です。

＜特活力とは＞

中学校学習指導要領【特別活動】で「身に付けさせるべき力」としている資質・能力を「特活力」として3領域8項目に整理し、標準化したもの。

※ 特別活動と密接な関わりがあるとされているキャリア教育で「確実に育成しなければならない」とされている「基礎的・汎用的能力」を参考にして、特別活動で「身に付けさせるべき力」を整理したす。



2. 特活力テスト 評価の観点（3領域8項目）

領 域	項 目			
自他の理解をする力	①	自己理解	自分のことを知る力	自分のよさや個性、性格等について理解したり、自分は将来に対しどのような夢や希望を持っているかなどについて理解する力。
	②	他者理解（共感性）	他者のことを知る力	他者の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として同じように感じる力。
他者や集団に適応する力	③	協調性	仲間と協力する力 周囲に合わせて行動する力	相手との人間関係を円滑に進めようとする態度で、共通の目標に向けて行動することができる力。
	④	適応力	生活を工夫する力	集団の現状及び変化などに対して、自ら主体的、意識的に働きかけたり変化することにより、調和のとれた良好な人間関係や生活環境をつくり出すことができる力。
	⑤	規範意識（自律）	約束を守る力 自分で考える力	集団を尊重する態度、責任の自覚や権利と義務に関する正しい理解など、集団や社会の中のルール、約束を守ることができる力。
集団の中で自分を発揮する力	⑥	表現力	考えを伝える力	自分の気持ちや考えを他者に受け入れられる適切な手段や方法により表すことができる力。
	⑦	コミュニケーション能力	他者と円滑に関わる力	他者の気持ちや考えをきちんと受け止め、理解しながら、自分の気持ちや考えを相手に伝え、よい関係を築くことができる力。
	⑧	問題解決能力	困難を乗り越える力	身の回りに起こる問題や課題に対して、解決のために考えたり行動したりすることができる力。

3. 中学校学習指導要領【特別活動】の内容とテスト問題の対応

(1) 中学校学習指導要領【特別活動】の内容

学 級 活 動	(1) 学級や学校の 生活づくり	ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
		イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理
		ウ 学校における多様な集団の生活の向上
	(2) 適応と成長及び 健康安全	ア 思春期の不安や悩みとその解決
		イ 自己及び他者の個性の理解と尊重
		ウ 社会の一員としての自覚と責任
		エ 男女相互の理解と協力
		オ 望ましい人間関係の確立
		カ ボランティア活動の意義の理解と参加
		キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成
		ク 性的な発達への適応
		ケ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成
	(3) 学業と進路	ア 学ぶことと働くことの意義の理解
		イ 自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用
		ウ 進路適性の吟味と進路情報の活用
		エ 望ましい勤労観・職業観の形成
		オ 主体的な進路の選択と将来設計
生 徒 会 活 動	(1) 生徒会の計画や運営	
	(2) 異年齢集団による交流	
	(3) 生徒の諸活動についての連絡調整	
	(4) 学校行事への協力	
	(5) ボランティア活動などの社会参加	
学 校 行 事	(1) 儀式的行事	
	(2) 文化的行事	
	(3) 健康安全・体育的行事	
	(4) 旅行・集団宿泊的行事	
	(5) 勤労生産・奉仕的行事	

(2) 中学校版「特活力テスト」の問題に対応する中学校学習指導要領【特別活動】の内容

(学習指導要領の内容の表記 ㊟：学級活動 ㊠生徒会活動 ㊡学校行事)

特活力（領域）	特活力項目	問題No.	学習指導要領の内容	評価項目
自他を 理解する力	自己理解	❶	㊟(2)ア.イ (3)ウ	学級活動
		①－Ⅰ	㊟(1)ア (2)イ (3)ウ.オ	
		①－Ⅱ	㊟(1)ア (2)ア.イ (3)ウ	
		②－Ⅰ	㊟(1)ア (2)イ.オ (3)ウ	
		②－Ⅱ	㊟(1)ア (2)ア.イ.オ (3)イ.ウ	
	他者理解	❷	㊟(2)ア.イ.オ	生徒会活動
		③－Ⅰ	㊟(1)ア (2)イ.ウ.オ.キ ㊠(3).(4) ㊡(3)	
		③－Ⅱ	㊟(1)ア (2)イ.オ.キ ㊠(3) ㊡(3)	
		④－Ⅰ	㊟(1)ア (2)イ.オ ㊠(1).(4)	
		④－Ⅱ	㊟(1)ア (2)イ.オ.キ ㊠(1).(4)	
他者や集団に 適応する力	協調性	❸	㊟(1)イ.ウ (2)イ.オ	学校行事
		⑤－Ⅰ	㊟(1)ア (2)ウ.オ ㊠(4) ㊡(3)	
		⑤－Ⅱ	㊟(1)ア (2)ウ.オ ㊠(4) ㊡(3)	
		⑥－Ⅰ	㊟(1)イ (2)イ.オ.カ.ク ㊠(1).(5) ㊡(5)	生徒会活動
		⑥－Ⅱ	㊟(1)イ (2)イ.オ.カ.ク ㊠(3).(5) ㊡(5)	
	適応力	❹	㊟(1)イ.ウ (2)イ.オ (3)イ	学級活動
		⑦－Ⅰ	㊟(1)ア (2)イ.オ	
		⑦－Ⅱ	㊟(1)ア (2)イ.オ	
		⑧－Ⅰ	㊟(1)ウ (2)ウ ㊠(1).(2).(3).(4)	生徒会活動
		⑧－Ⅱ	㊟(1)ウ (2)カ.ク ㊠(1).(2).(5) ㊡(2)	
	規範意識	❺	㊟(1)イ.ウ (2)ウ.カ.キ (3)イ	学校行事
		⑨－Ⅰ	㊟(1)ウ (2)ウ ㊠(4) ㊡(4)	
		⑨－Ⅱ	㊟(1)ウ (2)ウ ㊡(4)	
		⑩－Ⅰ	㊟(1)ウ (2)ウ ㊡(1)	学級活動
		⑩－Ⅱ	㊟(1)ウ (2)ウ (3)イ ㊠(2) ㊡(1)	
集団の中で自分 を発揮する力	表現力	❻	㊟(1)ウ (2)オ ㊠(2)(4) ㊡(1)(2)	学校行事
		⑪－Ⅰ	㊟(1)ア ㊠(4) ㊡(2)	
		⑪－Ⅱ	㊟(1)ア (2)カ ㊡(2)	
		⑫－Ⅰ	㊟(1)ウ (2)イ (3)ア.ウ.イ.オ ㊡(5)	学級活動
		⑫－Ⅱ	㊟(1)ウ (3)イ ㊡(2).(5)	
	コミュニケーション 能力	❼	㊟(1)ア.イ.ウ (2)ウ.オ ㊠(2)(3)(4) ㊡(1)(2)(3)(4)(5)	学校行事
		⑬－Ⅰ	㊟(1)イ (2)イ.オ.キ ㊡(4)	
		⑬－Ⅱ	㊟(1)イ (2)ウ.イ.オ ㊡(4)	
		⑭－Ⅰ	㊟(1)ア (2)ウ.オ.キ	生徒会活動
		⑭－Ⅱ	㊟(1)ア (2)オ.キ	
	問題解決 能力	❽	㊟(1)アウ (2)ア (3)アウ ㊠(1)(2)(3)(4) ㊡(1)(2)(3)(4)(5)	学級活動
		⑮－Ⅰ	㊟(1)ウ (2)ケ (3)ア.イ	
		⑮－Ⅱ	㊟(1)ウ (2)ウ.ケ ㊡(2)	
		⑯－Ⅰ	㊟(1)イ (2)ウ.イ ㊡(4)	学校行事
		⑯－Ⅱ	㊟(1)イ (2)ウ.イ ㊡(4)	

4. 実施・集計方法

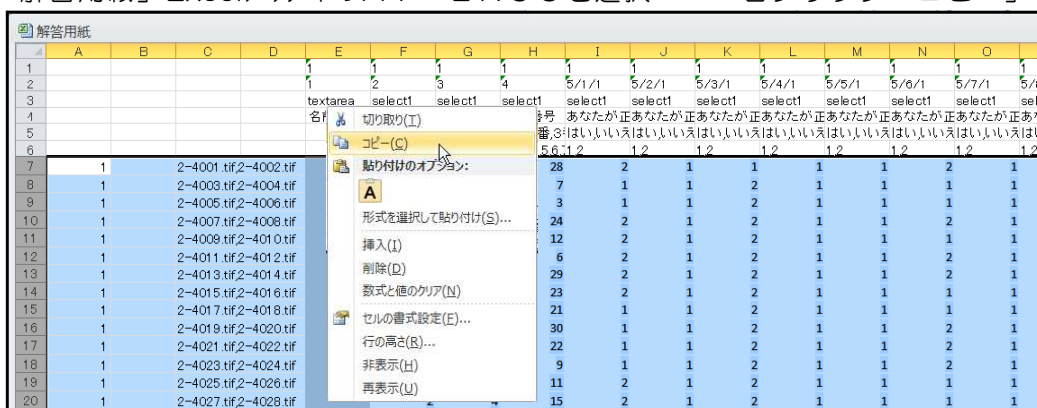
(1) 実施に必要な資料

準 備	備 考
中学校版「特活力テスト」	①プリンタ設定「製本印刷」「両面印刷」「A3」で印刷。 ②中綴じ（製本）ホッチキス等で中央を止める。
解答用紙2枚 ・解答用紙（PDF）今の自分用 ・解答用紙（PDF）理想の自分用	「自分の今の考えや行動（今の自分）」を答える解答用紙と「本当はこう考えたり、行動した方がよい（理想の自分）」を答える解答用紙の2枚用意する。解答用紙は、ほぼ同じものを使用するため、紙の色を変えるとよい。

(2) 集計方法

- ① 解答用紙をスキャナで読み取りtiff形式にする。
- ② SQS用のソフト「MarkReader 2.1」で処理する。
※ 「今の自分」「理想の自分」を別々に処理する。
※ 「MarkReader 2.1」を事前にインストールしておく必要があります。
※ SQS集計方法で不明な点は、<http://sourceforge.jp/projects/sqs-xml/> を参照してください。
- ③ 集計結果フォルダ内の「解答用紙」XLSファイル形式のデータを「特活力テスト集計プログラム」に貼り付ける。

- ①「解答用紙」ExcelワークシートのA7～E1000を選択 → 右クリック「コピー」



- ②特活力テスト集計プログラム「SQS結果貼付シート」のA7にコピーしたデータを「貼り付け」
特活力テスト集計プログラム「SQS結果貼付シート（自分）」 → 「今の自分」の結果
特活力テスト集計プログラム「SQS結果貼付シート（理想）」 → 「理想の自分」の結果



- ③ 特活力テスト集計プログラム「SQS結果貼付シート」の「並べ替え」ボタンで、出席 番号順に並べ替える。(自分)、(理想)の両方のシートを並べ替える。

10特活力テスト集計プログラム

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1																
2																
3					(1)			(4)	1	2	3	4	5	6	7	8
4					名			番	1	1	0	1	1	0	1	0
5					前			号	0	0	1	0	0	1	0	1
6					群馬太郎	1	1		5	1	1	2	1	1	2	1
7		1			033.tif,2	2	4		1	2	1	1	1	1	1	1
8		1			037.tif,2	2	4		2	2	1	2	1	1	1	2
9		1			2-4005.tif,2	2	4		3	1	1	2	1	1	1	1
10		1			2-4043.tif,2	2	4		4	2	1	2	1	2	2	2
11		1			2-4011.tif,2	2	4		6	2	1	2	1	1	2	1
12		1			2-4003.tif,2	2	4		7	1	1	2	1	1	1	1

※ 「並べ替え」をしない場合、「自分」と「理想」の結果がずれることがあります。

- ④ 生徒の名前を入力する。

- 特活力テスト集計プログラム「SQS結果貼付シート（自分）」又は「個票データ」に名簿のデータをに貼り付ける。または、直接入力する。

個表集計シート

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1											
2					平均	8.4	11.7	11.9	10.2	9.5	11.5
3		(1)	(2)	(3)	(4)						
4	No.	名	年	組	番号						
5		前				自己理解	他者理解	協調性	適応力	規範意識	表現力
6	例	群馬太郎	1	1	5	14	14	14	14	14	14
7		上原 ○○	2	4	3	12	12	14	12	13	11
8		亀井 ○○	2	4	6	5	13	14	10	11	13
9		栗原 ○○						12	9	8	10
10		小林 ○○						12	10	12	10
11		佐藤 ○○						12	7	6	8
12		鈴木 ○○						10	8	7	12
13		高橋 ○○						13	12	11	12
14		中井 ○○						10	7	6	14
15		仲西 ○○						11	11	9	11

- ⑤ 「先生から」欄を事前に入力する場合は、「③個票DATA」のB E列に入力します。

<データのチェック>

「②集計結果」のセル色が黄色になっている部分は、「生徒の解答ミス」「スキャナの読み取りミス」などの間違いがあります。「SQS結果貼付シート（自分）、（理想）」で数値を修正してください。

※ 「①採点結果」「②集計結果」のシートは『保護』されているので、修正はできません。どうしても修正する場合は、『保護』を解除してください。（パスワードなし）

① 「クラス一覧表」 sheetを印刷する。【学級結果一覧・学級結果グラフの印刷】

印刷されます。

学級結果一覧（今の自分）

[illegible]

学級結果一覧（理想の自分）

[illegible]

学級結果グラフ

[illegible]

② 「個票（印刷用）」sheetを印刷する。【個人票の印刷】

「個票（印刷用）」sheetの上にあるボタンで印刷を行う。



<Sheet上にあるボタン>

- ・「生徒選択」：▲▼ボタンで生徒の切り替える
- ・「印刷」：表示中のページを印刷する
- ・「ページ指定印刷」：No.〇〇～No.〇〇と指定して印刷する

※ プリンタの設定・・・「両面印刷」「短辺綴じ」「A 3orB 4」

特活力テスト 個人票（表紙）

※ 両面印刷で、表紙を外側に中央の線を山折りし、内側にグラフ等の内面が印刷されるようにする。

特活力テスト 個人票（内面）

5. 展開案

(1) 中学校版「特活力テスト」の実施

ねらい：中学校版「特活力テスト」を実践し、特活力に対する意識の向上を図り、今の自分の姿を客観的にとらえる。

時間	活 動
5分	○中学校版「特活力テスト」について説明を聞く <ul style="list-style-type: none"> ・特活力とは何か。行事や普段の生活を例に挙げて説明する。 ・成績に直結するテストではないことを確認し、正直に解答するように伝える。 ・問題表紙の「注意事項」を読み、解答する時の注意自校を確認する。
30分	○(1)～(4)の名前・番号等は、一斉に行う ○(5)意識調査には、「自分の考え」で解答させる ○(6)具体的な場面でどう考え・どう行動するかを問う問題に解答する <ul style="list-style-type: none"> ・テストは「自分の考え・行動」と「理想の考え・行動」の2つの視点で解答させる。 ・転記ミスを防ぐため、問題用紙に直接解答させ、終了後に解答用紙に転記させるとよい。 ・読むことが苦手な生徒のために、教師は音読と説明をしながら解答させるとよい。 ・読むことが得意な生徒は、どんどん自分のペースで解答させ、全問解答できた生徒から、(7)～(9)「自由記述欄」を記入させる。 ・「自由記述欄」は、学校生活のふり振り返りや今後の目標についての内容となる。テスト結果に反映しないため、早く解答できた生徒のみでよい。
10分	○中学校版「特活力テスト」回収 <ul style="list-style-type: none"> ・問題用紙に解答したものをマークシートに転記する。 ・問題、解答用紙(2枚)すべてを回収する。

(2) 中学校版「特活力テスト」の結果返却・個人面談(2時間計画)

ねらい：生徒が個人票の分析と「振り返り」欄を記入等を行うことで、なりたい自分の姿をイメージする。

時間	活 動
10分	○中学校版「特活力テスト」個人票返却 <ul style="list-style-type: none"> ・グラフの見方等、振り返りの方法をプリント等を使って分析方法の説明する。
70分	○中学校版「特活力テスト」の「ふり振り返り1」をする <ul style="list-style-type: none"> ・結果をもとに「今の自分の姿」を振り返らせ、「なりたい自分の姿」を具体的にイメージさせる。 ・「特活力評価の観点」と問題文をよく読んで、自分の行動をふり振り返り、学校生活の具体的な場面での行動について考えさせる。 ○個人面談をする <ul style="list-style-type: none"> ・個別に面談を行い、担任からアドバイスや分析の支援をする。よいところに着目して、生徒に自信を持たせる。
10分	○まとめ <ul style="list-style-type: none"> ・イメージした「なりたい自分の姿」を実現するために、これからどう生活していくべきかを考えさせる。 ・保護者に対して、「中学校版『特活力テスト』の説明」「授業の流れやねらい」を記載したプリントを配付し、協力を依頼する。

6. 問題文、各問題の配点、解説

※ 「活用場面」は、中学校版「特活力テスト」を学活等の活用場面の例

(1) 意識を見取る設問

この設問では、特活力に対して、正しい意識を持っているか調査する問題で、「はい」・「いいえ」から正しいと思うものを選び答える。

① 配点： 各2点

② 活用場面： 学校生活の振り返り・学活の時間の導入

(5) あなたが正しいと思うことは「はい」、間違っていると思うことは「いいえ」を選んでください。

① 自分にはよいところがたくさんある。**自己理解**

【 はい ・ いいえ 】

② みんなが大切に思っていることはそれぞれ違う。**他者理解**

【 はい ・ いいえ 】

③ 自分の好きなことだけを一生懸命頑張っていれば、友達や家族は自分に協力してくれる。**協調性**

【 はい ・ いいえ 】

④ よい友達関係をつくるためには、自分が変わったり、自分から声をかけたりするとよい。**適応力**

【 はい ・ いいえ 】

⑤ 学校の約束やルールはみんなの権利や生活を守るためにある。**規範意識**

【 はい ・ いいえ 】

⑥ 相手に自分の考えや意見を分かってもらうためには、深く考えず、思っていることを隠さずにどんどん伝えた方がよい。**表現力**

【 はい ・ いいえ 】

⑦ 自分の気持ちを相手に伝えるには、相手が何を考えているかを考えてから話すとよい。**コミュニケーション能力**

【 はい ・ いいえ 】

⑧ 何か問題が起きたとき、失敗を恐れず、自分で素早く判断して行動することが、周りの人にも迷惑をかけないよい方法だ。**問題解決能力**

【 はい ・ いいえ 】

(2) 考え方や態度を見取る設問

この設問では、生徒は学校生活の具体的な場面において、「今の自分の行動や考え」と「理想とする行動や考え」の2通りの解答をする。

① 配点： A 十分満足できる (3点)

B おおむね満足できる (2点)

C 最低限必要な力 (1点)

D 指導が必要 (0点)

② 活用場面： 学校生活の具体的な場面の振り返り

スキルトレーニング（リ・ソ・タル・キル・ア・シヨウ等）のロールプレイ
行事や学校生活の振り返り

【自己理解】自分のことを知る力

自分のよさや個性、性格等について理解したり、自分は将来に対しどのような夢や希望を持っているかなどについて理解する力。

＜評価規準＞

【A 評価】 十分満足できる	【B 評価】 おおむね満足できる	【C 評価】 最低限必要な力	【D 評価】 指導が必要
自分のよさや個性、性格、行動様式、価値観、置かれている環境などについて、理解し、生活や将来に生かそうとしている。	自分のよさや個性、性格、行動様式、価値観、置かれている環境などについて、理解している。	自分のよさや個性、性格、行動様式、価値観、置かれている環境などについて、興味を持っている。	自分のよさや個性、性格、行動様式、価値観、置かれている環境などについて、興味を持っていない。

＜問題と解答＞

（6） 文章の中に出てくる健一君・文子さんが、もしも自分だったら、あなたはどんな気持ちや考えになるでしょうか。一番近いと思うものをア～エから選んでください。

①

自己理解 1
学級活動 1

健一君のクラスでは、新学年になった4月、自分の性格や、特技、これからの抱負など、3分間の自己紹介スピーチをします。発表前日の夜、健一君は自分の部屋で、どんなことを話そうか考えています。



＜①－Ⅰ＞

このとき、健一君はどんな気持ちだったでしょう。

- ② ア 自分の得意なことやこれらががんばっていきたいことをしっかりと発表しよう。
- ① イ 今の自分の課題や目標は、まだはっきりとしなけれど、明日までにしっかり考えてみよう。
- ④ ウ 自分のことを3分間も話すなんてむずかしいな。どうしよう。
- ③ エ 新しい学年になって、自分を変えるチャンスなので、3分間自信を持って発表しよう。

＜①－Ⅱ＞

次の日、発表を終えた健一君は、うまくスピーチができなかったため、「自分のことなのだから、しっかり話せるようにしておきなさい。」と、担任の先生に注意されてしまいました。健一君は、どんな方法でスピーチ内容を考えてよいでしょう。

- ③ ア まずは「今後の目標」と「こんな自分になりたい」というイメージをもって、さらに伸ばしていきたいことや苦手なことを考える。
- ① イ 友達や親に自分のことについて聞いてみる。
- ② ウ もう一度じっくり自分を振り返り、性格や得意なこと、苦手なことなど、色々な視点から自分を振り返る。
- ④ エ しっかり発表できていた友達のスピーチ内容をそのまま自分のものとして発表できるように覚えておく。

②

自己理解 2
学級活動 2

健一君のクラスでは学活で「友達のよいところをさがし」をしました。健一君は、おとなしく、クラスでは目立たない存在だと自分では思っていたが、友達から「発言力がある」「責任感が強い」「話しが楽しい」「リーダーシップがある」など、たくさん意見の聞くことができました。



＜②－Ⅰ＞

このとき、健一君はどんな気持ちだったでしょう。

- ② ア 友達から見た自分のよいところは、自分の思っているよいところとは違うということに気付いた。
- ① イ 友達から自分のよいところをたくさん言ってもらえてうれしい。
- ④ ウ 自分のことは自分が一番よく知っているの、友達の意見は間違っている。
- ③ エ 自分のよいところがたくさんあることがわかった。このよいところをもっと伸ばせるようにがんばっていこう。

＜②－Ⅱ＞

よいところ探しをした結果、自分にどんな変化があったのかクラスで振り返ることになりました。健一君は、どんなことを考えたでしょうか。

- ③ ア 自分に自信を持ったり、友達のよいところが見えてきたりして、友達とうまく付き合うことができるようになった。
- ① イ もっと自分のよいところを知りたくなった。
- ② ウ 自分に自信が持てるようになり、色々なことに積極的にチャレンジできるようになった。
- ④ エ 友達に言ってもらった「よいところ」を意識しすぎて、本当の自分を出せなくなってしまった。

※ 数字は配点



【他者理解（共感性）】 他者のことを知る力

他者の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として同じように感じることができる力。

＜評価規準＞

【Ａ評価】 十分満足できる	【Ｂ評価】 おおむね満足できる	【Ｃ評価】 最低限必要な力	【Ｄ評価】 指導が必要
<p>他者のよさや個性、性格、行動様式、価値観、置かれている環境などについて、受け入れ、生活に生かそうとしている。また、他者のよさを認め励ます方法や大切さについて理解し、実践している。</p> <p>他者の心情を自分のものとして受け止め、相手の心情やものの考え方について、共感している。</p>	<p>他者のよさや個性、性格、行動様式、価値観、置かれている環境などについて、受け入れている。また、他者のよさを認め励ます方法や大切さについて理解している。</p>	<p>他者のよさや個性、性格、行動様式、価値観、置かれている環境などについて、興味を持っている。</p>	<p>自 他者のよさや個性、性格、行動様式、価値観、置かれている環境などについて、興味を持っていない。</p>

＜問題と解答＞

<p style="text-align: center;">③ 他者理解 1 生徒会活動 1</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>文子さんのクラスでは、校内マラソン大会に向けて毎日、クラス全員で朝練習をしています。体育委員の文子さんは、「クラス全員でがんばって、優勝しよう。」と呼びかけています。マラソンの苦手な真弓さんも毎日休まず練習に参加しています。真弓さんは一生懸命走っているのですが、練習についてこれません。クラスの練習を真弓さんに合わせているとなかなか練習にならず、クラスの仲間から、少しずつ不満の声が聞こえてくるようになってしまいました。</p>  </div> <p>＜③－Ⅰ＞</p> <p>このとき文子さんは、真弓さんに対して、どんな気持ちをもったでしょうか。</p> <p>ア がんばっているのに、周りから不満を言われて辛いだろうな。 イ マラソンが苦手なのだから仕方がない。がまんしよう。 ウ マラソンが苦手なのに休まず参加して偉いな。 エ 真弓さんがいなければ、もっとしっかり練習できるのかな。</p> <p>＜③－Ⅱ＞</p> <p>マラソン大会当日、クラス全員がゴールしたあと、真弓さんがだいぶ遅れてゴールに走ってきます。真弓さんは苦しそうな顔で必死で走っています。このとき文子さんはどんなことを考えたでしょうか。</p> <p>ア 真弓さんのせいで、クラスが負けてしまうかもしれない。 イ 毎日の練習は辛かっただろうな。クラスのためにいつも一生懸命がんばっている真弓さんは我慢強いな。 ウ クラスのために最後までがんばって走ってほしい。 エ 真弓さんは、クラスの足を引っ張らないように必死で走っていてすごいな。</p>	<p style="text-align: center;">④ 他者理解 2 生徒会活動 2</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>2年生の健一君は、前期学年委員長として、学年の中心となって活躍してきました。10月の生徒会選挙では、この経験を生かして生徒会長に立候補しました。健一君は、自分には経験もあるし、まとめる力もあるので、当然、自分が会長に選ばれると思っていた。しかし、会長に選ばれたのは、いつも学級役員に選ばれるものの、どちらかというと聞き役に回ることの多い昌弘君でした。</p>  </div> <p>＜④－Ⅰ＞</p> <p>このとき健一君は、どんな気持ちだったでしょうか。</p> <p>ア 昌弘君は、いつも学級役員をがんばっていたので仕方がないな。 イ 昌弘君は、人の意見ばかり聞いているから、生徒会長には向かないと思う。 ウ 自分の力をみんなは理解していない。昌弘君より自分の方が生徒会長に向いている。 エ 昌弘君が選ばれたのは、僕より優れた点があるのだろう。理由をしっかりと考えて次に生かそう。</p> <p>＜④－Ⅱ＞</p> <p>昌弘君が選ばれた理由は「みんなの意見を聞き、状況をよく考えて行動できるから」と聞きました。そのとき、健一君はどんなことを考えたでしょうか。</p> <p>ア 自分にはない昌弘君のよいところを、学んでいこう。 イ 意見を聞き入れるだけでは、みんなをまとめることはできない。僕の方が生徒会長に向いている。 ウ 昌弘君の人の意見を聞いて行動できるところはすばらしい。これから昌弘君が活動しやすいように応援していこう。 エ みんなは昌弘君のことが好きで、僕のことが嫌いなんだ。</p>
--	--

※ 数字は配点

【協調性】 仲間と協力する力・周囲に合わせて行動する力

相手との人間関係を円滑に進めようとする態度で、共通の目標に向けて行動することができる力。

＜評価規準＞

【A 評価】 十分満足できる	【B 評価】 おおむね満足できる	【C 評価】 最低限必要な力	【D 評価】 指導が必要
<p>他者の価値観を尊重し、認め、行動できる。また、集団のルールや友人の意見に従って活動することの大切さについて理解し、実践している。</p> <p>気の合わない友人であっても、相手の気持ちを考え、共に活動することの大切さについて理解し、実践している。</p>	<p>他者の価値観を尊重し、認めている。また、集団のルールや友人の意見に従って活動することの大切さについて理解している。</p>	<p>他者の価値観に関心を持っている。</p>	<p>他者の価値観を尊重し、認めることができない。</p>

＜問題と解答＞

⑤

協調性 1
学校行事 1

いよいよ来週は、校内バレーボール大会です。健一君はバレー部のエースで、校内バレーボール大会ではいつもクラスの中心となって活躍しています。昨年も健一君の活躍でクラスは優勝しました。クラスでは「健一君がいれば勝てる。」と盛り上がっています。しかし、クラスには、それほどバレーボールの上手な人はいません。



＜⑤－Ⅰ＞

バレーボール大会に向けて、健一君はどんな気持ちでしょうか。

- ② ア クラスの一員として、みんなと一緒に最後までがんばってみよう。
- ① イ みんなが期待してくれているので、がんばってみよう。
- ③ ウ このメンバーでは優勝できそうもないので、試合に出るのが嫌だなあ。
- ③ エ 自分が中心になって、みんなが少しでも上達するように、声をかけてこう。

＜⑤－Ⅱ＞

結局、健一君は「どうせ勝てないから」とクラスの練習に一度も参加をしませんでした。球技大会当日、仲間のがんばりで健一君のクラスはあと1勝すれば優勝というところまで来ました。ところが優勝のかかった最後の試合、健一君のミスが続き、大差をつけられて負けています。このとき、健一君はどんな気持ちでしょうか。

- ③ ア ミスをして恥ずかしい。今からがんばっても追いつかないからあきらめよう。
- ③ イ みんなに申し訳ない。今さらだけど、みんなと協力して最後まで全力でがんばろう。
- ① ウ みんなががんばっているから、あと少しがんばってみよう。
- ② エ 自分のミスを少しでも取り戻せるようにがんばろう。

⑥

協調性 2
生徒会活動 3

健一君たちは、園芸委員のボランティア活動で、地域の花壇に花を植えることになりました。委員会の分担当は、女子2人が花を植える。男子3人が花と土を花壇まで運ぶ。という担当です。活動を始めると、女子の花を植える作業がなかなか進みません。近くにいた健一君に、真弓さんが「花を植えるのを手伝ってくれない。」と声をかけてきました。



＜⑥－Ⅰ＞

健一君は、このときどんな気持ちだったでしょうか。

- ② ア 委員会の仕事が遅れてしまうので、手伝おう。
- ① イ 自分だけ女子と一緒に仕事をするのは恥ずかしいけど、少し手伝おう。
- ③ ウ 男女関係ない。協力するのは当たり前なので、進んで手伝おう。
- ③ エ 花を植えるのは女子の担当なのだから、女子が最後までやるべきだ。

＜⑥－Ⅱ＞

健一君は女子の手伝いを始めましたが、男子が健一君を見ながらヒソヒソ話をしています。このとき健一君はどんなことを考えたでしょうか。

- ① ア もう少し手伝ったら、手伝いをやめて、男子のところへ戻ろう。
- ③ イ あとで何か言われると嫌だから、すぐに手伝いをやめよう。
- ② ウ 何か言われるのは嫌だけど、やめると女子が困るので、このまま手伝いを続けよう。
- ③ エ 園芸委員みんなで花を植えられるように、男子にも声をかけてみよう。



※ 数字は配点

【適応力】生活を工夫する力

集団の現状及び変化などに対して、自ら主体的、意識的に働きかけたり変化することにより、調和のとれた良好な人間関係や生活環境をつくり出すことができる力。

＜評価規準＞

【A 評価】 十分満足できる	【B 評価】 おおむね満足できる	【C 評価】 最低限必要な力	【D 評価】 指導が必要
友人同士の活動や新しい集団に自ら働きかけたり、自らが変化しながら、調和のとれた良好な人間関係や生活環境を考え、判断し、実践している。	友人同士の活動や新しい集団に自ら入っていき、調和のとれた良好な人間関係や生活環境を考え、判断し、実践している。	友人同士の活動や新しい集団に入り、集団に合わせて活動している。	友人同士の活動や新しい集団に入り、集団に合わせて活動していない。

＜問題と解答＞

⑦

適応力 1
学級活動 3

明日から2週間、健一君のクラスに、アメリカからの留学生のトム君が来ます。健一君の隣の席が空いていたので、トム君は健一君の隣で生活することになりました。担任の先生から、「トム君は初めて日本に来るので、日本語がほとんど話せない。」と聞いています。健一君は、英語が苦手なので少し心配です。



＜⑦－Ⅰ＞

先生の話を聞いて、健一君はどんな気持ちだったでしょうか。

- ③ ア トム君は外国から一人で来るので、さみしくならぬように助けてあげよう。
- ① イ トム君と仲良くなりたけれど、言葉が通じないので不安だな。
- ② ウ 心配なのはトム君も一緒なので、積極的に話しかけよう。
- ④ エ 英語が得意な人の隣の席になればいいのに。

＜⑦－Ⅱ＞

健一君は、どのような方法でトム君と付き合いおうと考えたでしょうか。

- ① ア 特別なことをしなくても同じ教室で過ごしていれば、自然と心が通じらう。
- ④ イ 日本に留学したのだから、勉強のため日本語で話をしてもらおう。
- ③ ウ 言葉は通じなくてもジェスチャーやイラストなどで、どんどん話しかけてみよう。
- ② エ 英語は苦手だけど、できるだけ英語で話をしてみよう。



⑧

適応力 2
生徒会活動 4

文子さんは、1年生から2年生前期までずっと保健委員として活動してきましたが、2年生の後期は、給食委員に挑戦することにしました。今日は初めての委員会の集まりがあります。後期は2年生が中心となって委員会を運営しなければなりません。



＜⑧－Ⅰ＞

今日の委員会の活動は組織を決めます。このとき、文子さんはどんな気持ちだったでしょうか。

- ② ア 誰が役員にふさわしいか、みんなで相談して決められるように声をかけていこう。
- ④ イ 仕事の内容がよくわからないので、役員にならないように静かにしていよう。
- ① ウ 誰が役員になったとしても、委員会がよくなるように協力していこう。
- ③ エ 給食委員の経験はなくても、委員会を引っ張っていくという自覚を持って、積極的に役員に立候補しよう。

＜⑧－Ⅱ＞

小学校の先生から、給食委員会に、「栄養の偏りのない食事の取り方について、小学生に話をしてほしい。」と依頼がありました。このとき、文子さんはどんなことを考えたでしょうか。

- ③ ア 興味を持って聞いてもらえるように、紙芝居などを使って、楽しく食事について話をしよう。
- ② イ 小学生にもわかりやすい言葉や話し方で、食事について話ができるようにしよう。
- ① ウ 中学生として恥ずかしい態度で、小学生に話ができるようにしよう。
- ④ エ 中学生が話をするより、先生の方が上手に話ができるのに。



※ 数字は配点

【規範意識（自律）】 約束を守る力・自分で考える力

集団を尊重する態度、責任の自覚や権利と義務に関する正しい理解など、集団や社会の中のルール、約束を守ることができる力。

＜評価規準＞

【A 評価】 十分満足できる	【B 評価】 おおむね満足できる	【C 評価】 最低限必要な力	【D 評価】 指導が必要
自分の属する集団の秩序を尊重し、集団のルール、約束事を守ることについて考え、判断し、実践している。	自分の属する集団の秩序を尊重し、集団のルール、約束事を守ることができる。	自分自身の行動選択や善悪の判断ができる。	自分自身の行動選択や善悪の判断ができない。

＜問題と解答＞

⑨

規範意識 1
学校行事 2

健一君は、来週、学校の宿泊行事で、高原学校へ行きます。実行委員会を中心に、学年のみんなで相談をして、「副食（お菓子）は、持って行かないようにしましょう。」と決めました。しかし、友達の中には、「内緒でお菓子を持って行く。」と話している人もいます。



＜⑨－Ⅰ＞

健一君は、このときどんな気持ちだったでしょうか。

- 1 ア 自分は持って行かないようにしよう。
- 0 イ お菓子を持って行くという人がいるので、自分も内緒で持って行こう。
- 3 ウ みんなで決めたのだから約束を守るべきだ。お菓子を持って行くこととしている友達を注意しよう。
- 2 エ この約束に納得していない人がいるので、もう一度、約束を決め直すように実行委員に話してみよう。

＜⑨－Ⅱ＞

友達の何人かが、消灯後の布団の中で、持ってきたお菓子を食べようとしています。このとき健一君はどんなことを考えたでしょうか。

- 2 ア お菓子を食べるのをやめて片付けるように、そっとアドバイスする。
- 1 イ 自分は関係ない。見て見ぬふりをしよう。
- 0 ウ 先生に見つからなければ大丈夫だろう。僕も仲間に入れてもらおう。
- 3 エ みんなで決めた約束を破るのは許されないことだから、すぐに先生に話をしよう。



⑩

規範意識 2
学級活動 4

健一君（2年生）の学校では、明日からいよいよ夏休みです。次の時間は終業式、うれしくて落ち着きのない友達が何人かいます。



＜⑩－Ⅰ＞

終業式直前の健一君は、どんな気持ちだったでしょうか。

- 0 ア 早く終業式が終わって、夏休みになるといいな。
- 3 イ 落ち着きのない友達に声をかけて、みんなでよい終業式ができるように呼びかけよう。
- 2 ウ 落ち着いた態度で終業式に参加し、先生方の話をしっかりと聞こう。
- 1 エ 先生に怒られないように、終業式ではおとなしくしていよう。

＜⑩－Ⅱ＞

終業式の校長先生の話は、「2年生には、学校の中心となる自覚を持って夏休みを過ごして欲しい。」というものでした。健一君は、校長先生の話を聞いて、夏休みをどのように生活していこうと思ったでしょうか。



- 2 ア 部活動の中心となるので、だらだらせず後輩のよい手本となるように夏休みを過ごそう。
- 1 イ 生活のリズムが乱れないように、早寝早起きを心がけよう。
- 0 ウ 1学期の疲れがとれるように、夏休み中はゆっくりと朝寝坊をしよう。
- 3 エ 時間を無駄にしないように、目標をしっかりと立てて計画的な生活して、勉強と部活の両立をしよう。

※ 数字は配点

【表現力】考えを伝える力

自分の気持ちや考えを他者に受け入れられる適切な手段や方法により表すことができる力。

＜評価規準＞

【A 評価】 十分満足できる	【B 評価】 おおむね満足できる	【C 評価】 最低限必要な力	【D 評価】 指導が必要
他者の意見に対して自分の気持ちや考えをわかりやすく自分の言葉や態度で伝える方法について考え、判断し、実践している。また、TPOに応じて適切に表現する方法を考え、判断し、実践している。	他者の意見に対して自分の気持ちや考えをわかりやすく自分の言葉や態度で伝える方法について考え、判断し、実践している。	自分の気持ちや考えを言葉や態度で表している。	自分の気持ちや考えを言葉や態度で表していない。

＜問題と解答＞

⑪

表現力 1
学校行事 3

今日は校内合唱コンクールです。健一君のクラスはこの日のために一生懸命練習してきました。時には、男女が喧嘩になり、言い争いをしたこともありましたが、今ではクラスが1つにまとまって、合唱は最高の仕上がりをしています。いよいよ健一君のクラスの発表です。



＜⑪－Ⅰ＞

このとき健一君はどんな気持ちだったでしょうか。

- 1 ア 緊張するけど最後まで仲間を信じて、楽しんで歌おう。
- 3 イ 歌の意味が聞いている人たちに伝わるように、言葉をはっきりと心を込めて歌おう。
- 2 ウ 恥ずかしい気持ちを捨てて、ステージの上で大きな口を開けて、表情豊かに歌えるようにしよう。
- 0 エ 緊張で足がガクガクする。とにかく早く終わってほしい。

＜⑪－Ⅱ＞

閉会式、いよいよ結果発表です。教頭先生から金賞クラスの発表です。「金賞は・・・。」全員が、手を握り結果を待ちます。教頭先生が発表したクラスは、健一君のクラスでした。発表の瞬間、クラス全員が飛び上がって喜んでします。このとき、健一君はどんなことを考えたでしょう。

- 0 ア こういうときこそ落ち着いていた方がかっこいいので、冷静でいよう。
- 3 イ うれしい。この気持ちをめいっぱい表現して盛り上がろう。
- 2 ウ ガッツポーズをして、この喜びを表現しよう。でも、騒ぎすぎで怒られないようにしないとな。
- 1 エ みんなが喜んでるので、自分だけ浮いてしまわないようにみんなと同じくらい喜ぼう。



⑫

表現力 2
学級活動 5

文子さんは将来調理師になりたいと思っています。しかし、職場体験学習では、友達に誘われて幼稚園で体験をしました。希望する職業ではありませんでしたが、とても楽しく充実した体験をすることができました。



＜⑫－Ⅰ＞

明日の学活の時間に、職場体験のまとめをします。文子さんは、どのようにまとめよう考えたでしょう。

- 1 ア 保育士は自分の目標ではないので、適当にまとめておこう。
- 1 イ 保育士の仕事内容をしっかりとまとめておこう。
- 0 ウ 体験の中で学んだ働くことの楽しさや大変さをまとめておこう。
- 1 エ 体験を今後の進路や生活にどう生かしていけるかを考えてまとめよう。

＜⑫－Ⅱ＞

体験学習の内容を横造紙にまとめて発表会をします。右の横造紙は動物病院で体験した真弓さんの横造紙です。文子さんは真弓さんから「この横造紙どうかな。」と相談されました。文子さんは、どんなアドバイスをしようと考えたでしょう。

- 0 ア 真弓さんが傷つけないように、よくできているとほめよう。
- 2 イ ポイントになることだけを書いた方がよいとアドバイスしよう。
- 1 ウ 「文字が多すぎて、読みにくい。」とはっきり伝えよう。
- 3 エ 写真や図を使うことで、発表がわかりやすくなるかとアドバイスしよう。



※ 数字は配点

【コミュニケーション能力】他者と円滑に関わる力

他者の気持ちや考えをきちんと受け止め、理解しながら、自分の気持ちや考えを相手に伝え、よい関係を築くことのできる力

＜評価規準＞


【A評価】 十分満足できる	【B評価】 おおむね満足できる	【C評価】 最低限必要な力	【D評価】 指導が必要
相手の立場や意見を尊重しながら、自分の考えもわかりやすく、協動的・建設的に伝える方法について理解し、実践している。	相手の立場や意見を尊重しながら、自分の考えも相手に伝える方法について理解し、実践している。	相手の立場や意見を尊重しながら、相手と交流している。	相手の立場や意見を尊重しながら、相手と交流していない。

＜問題と解答＞

コミュニケーション1
学校行事4


13

健一君のクラスでは、修学旅行の班別自由行動のコース決めをしています。健一君の班は、班長の昌弘君が仲間の意見を聞かず、自分勝手にコースづくりを進めてしまい、班の仲間の不満がたまっています。



＜13-I＞
このとき健一君は、どんな気持ちだったでしょう。

0 ア 自分も行きたいところがあるのに、言い出せない。どうしよう。
2 イ 昌弘君がリーダーとして張り切っているのはわかるけど、みんなの意見も聞いてほしいな。
3 ウ 班のみんなも昌弘君も嫌な思いをせずにコースをつくるにはどうしたらよいだろう。
1 エ 昌弘君はリーダーシップがあってすごいな。ここは班長に任せておこう。




＜13-II＞
このままでは、班の仲間の不満が残ったままコースが決定してしまいます。このとき、健一君はどんなことを考えたでしょう。

3 ア 昌弘君の決めたコースをもとにして、みんなが行きたいところにも行けるように、班でコースを決め直そう。
0 イ 昌弘君が班長だとうまくいかないのを、班長を交代してもらおう。
2 ウ みんなの不満がたまっているということを昌弘君にそっと伝えよう。
1 エ お互いに嫌な思いをするだけなので、我慢して、昌弘君の決めたコースに賛成しよう。

コミュニケーション2
生徒会活動5

14

新学期、健一君のクラスでは、学級委員長を投票で選ぶことになりました。健一君は、まじめで発言力のある浩司君が一番の適任だと思い、浩司君に投票しようと考えていました。しかし、仲よしの昌弘君たちが「人気者の剛君にしよう。」と健一君をしつこくさそってきます。




＜14-I＞
健一君は昌弘君たちの誘いを断ろうと思っています。どんな断り方をしたらよいと考えたでしょうか。

1 ア あいまいな返事をしようまくごまかそう。
0 イ しつこいので昌弘君たちを無視する。
3 ウ 昌弘君たちが納得するように説明して、誘いを断ろう。
2 エ 浩司君に投票しようと思っていることをはっきり伝えよう。

＜14-II＞
健一君は、結局、浩司君に投票しました。投票した後で、健一君は、どんなことを考えたでしょうか。

0 ア 剛君に投票しなかったから昌弘君たちに意地悪されるかもしれない。
3 イ 浩司君と剛君、どちらが学級委員長になっても、みんなで協力していけるように、昌弘君たちと話そう。
2 ウ 昌弘君たちに何か言われたら、浩司君に投票した理由を昌弘君たちに話そう。
1 エ 自分が誰に投票したのか、昌弘君たちにはわからないのだから、話しをうまく合わせておこう。



※ 数字は配点

【問題解決能力】 困難を乗り越える力

身の回りに起こる問題や課題に対して、解決のために考えたり行動したりすることができる力。

＜評価規準＞

【Ａ評価】 十分満足できる	【Ｂ評価】 おおむね満足できる	【Ｃ評価】 最低限必要な力	【Ｄ評価】 指導が必要
問題や課題が生じた際、自分の力又は他者と協力しながら、主体的な態度で解決する方法について考え、判断し、実践している。	問題や課題が生じた際、自分の力又は他者と協力して解決する方法について考え、実践している。	問題や課題が生じた際、解決する方法について考え、実践している。	問題や課題が生じた際、解決する方法について考え、実践していない。

＜問題と解答＞

15

問題解決 1
学級活動 6

健一君は夏休みの課題研究で、「土の種類とトマトの成長」の実験に取り組むことにしました。様々な種類の土でトマトを育てる方法で、土の種類によって、生長の早さ、実の大きさや味に違いがあることに気がきました。しかし、土のどの成分がトマトの生長や実に影響を与えているのかが分からず、研究がまとまりません。



＜15-I＞

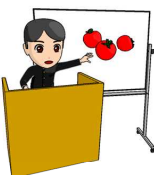
健一君はどんな気持ちになったでしょうか。

- 3 ア 農業高校の先生や農家の方に教えてもらえらるか聞いてみよう。
- 2 イ 本やインターネットで調べてみよう。
- 0 ウ 土の成分についてはあきらめて、わかっている内容だけをまとめよう。
- 2 エ 理科や技術の先生など、学校でわかりそうな先生に聞いてみよう。

＜15-II＞

健一君の研究がとてもよくまとまっていたため、学校の代表として、発表することとなりました。発表は研究をパソコンにまとめて、スクリーンで発表してもよいことになっていますが、発表日が近く一人でまとめるには時間が足りません。健一君はその時どんなことを考えただしょうか。

- 1 ア パソコンは使わず、研究を原稿にまとめて口頭で発表しよう。
- 0 イ 時間が足りないので、代表を辞退しよう。
- 3 ウ 先生や友達に協力してもらって、何とかパソコンで発表できるように準備をしよう。
- 2 エ パソコンにまとめる時間がないので、模造紙にまとめるなど、別の方法で、少しでもわかりやすく説明ができるようにしよう。



16

問題解決 2
学校行事 5

修学旅行2日目、京都での班別行動。健一君の班は、一ツ目の見学地の金閣寺へ向かう途中、道に迷ってしまいました。結局、金閣寺の入り口に着いたのは、到着予定時刻の1時間後でした。班長の健一君は計画通りに金閣寺に行けなかったことの責任を感じてしまいました。



＜16-I＞

道に迷って遅れてしまった1時間を取り戻さなくてはなりません。健一君はこのとき、どんなことを考えただしょうか。

- 3 ア 班の途中で相談して、移動方法や見学場所の計画を変更しながら1時間の遅れを取り戻そう。
- 1 イ すぐに先生に連絡を取って、どうしたらよいか指示をしてもらおう。
- 2 ウ この後の計画はそのままで、班のみんなで協力して急いで行動して、時間の遅れを取り戻そう。
- 0 エ 遅れたのは仕方がない。どうにかなるだろう。

＜16-II＞

何とかみんなのがんばりで、予定していた見学地をすべて見学することができました。しかし、班別行動終了時間まであと少し、歩いて帰ると集合時間に間に合いません。健一君はこのとき、どんなことを考えただしょうか。

- 2 ア 先生に遅れる連絡を入れ、遅れても安全に集合場所に着くようにしよう。
- 3 イ タクシーを使うなど、班の途中で相談して間に合う方法を考えよう。
- 2 ウ 遅れるのは仕方がないが、とにかくみんなで走ろう。
- 0 エ あきらめてゆっくりかえろう。



※ 数字は配点

7. 配付資料等

(1) 中学校版「特活力テスト」表紙

中学校版 特活力テスト

for SQS

★ 注 意 事 項 ★

- 1 問題と解答用紙、どちらにも名前を必ず書いてください。
- 2 解答欄を間違えないように、解答用紙の番号をよく確認しながら答え
てください。(問題数が多いので、このテスト問題に回答して、最後に
解答用紙にまとめて書き写すとミスがなくなります。)
- 3 解答用紙は2枚あります。先生の指示をよく聞いて、解答用紙を間違
えないようにしてください。(「自分の今の考えや行動」を答える解答
用紙と「本当はこう考えたり、行動した方がよい」を答える解答用紙)
- 4 言葉の意味がわからない等の質問があるときは、手をあげて先生に聞
いてください。

年 組 番 名 前

(2) 中学校版「特活力テスト」 解答用紙

★マークのしかた

特活力テスト

選択式の回答は、該当箇所のマーク①を塗りつぶしてご回答ください。
①: 空白マーク ②: 正しいぬりつぶし ③: 不十分なぬりつぶし

記述式の回答は、回答欄からはみ出さないように記入してください。
回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を持ちたり、折り目を付けたたりしないように注意してください。

(1) あなたが正しいと思うことは「はい」、間違っていると思うことは「いいえ」を選んでください。

問題	はい	いいえ
1 自分にはよいところがたくさんある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 みんなが大切に思っていることはそれぞれ違う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 自分の好きなことだけを一生懸命頑張っていれば、友達や家族は自分に協力してくれる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 よい友達関係をつくるためには、自分が変わったり、自分から声をかけたりするといふ。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 学校の約束やルールはみんなの権利や生活を守るためにある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 相手に自分の考えや意見を分かってもらうためには、深く考えず、思っていることを隠さずに どんなに伝え方がよい。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 自分の気持ちを相手に伝えるには、相手が何を思っているかを考えてから話すといふ。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 何の経験が起きたとき、失敗を恐れず、自分で最早判断して行動することが、周りの人にも 迷惑をかけるない方法だ。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(2) 文庫の中に出てくる人が、もしも自分だったら、あなたはどんな気持ちや考えになるでしょうか、あなたの気持ちや
考えが一番近いと思うものをア～エから選んでください。

	ア	イ	ウ	エ
1 ①～②	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 ①～②	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 ②～③	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 ②～③	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 ③～④	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 ③～④	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 ④～⑤	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 ④～⑤	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 ⑤～⑥	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 ⑤～⑥	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11 ⑥～⑦	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12 ⑥～⑦	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13 ⑦～⑧	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

★マークのしかた

	ア	イ	ウ	エ
14 ①～②	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15 ②～③	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16 ③～④	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
17 ③～④	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
18 ④～⑤	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
19 ④～⑤	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
20 ⑤～⑥	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
21 ⑤～⑥	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
22 ⑥～⑦	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
23 ⑥～⑦	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
24 ⑦～⑧	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
25 ⑦～⑧	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
26 ⑧～⑨	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
27 ⑧～⑨	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
28 ⑨～⑩	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
29 ⑨～⑩	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
30 ⑩～⑪	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
31 ⑩～⑪	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
32 ⑪～⑫	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(3) 振り返りの方法プリント (生徒用) No.1

特活力テスト「個人票」の活用の仕方 No.1

- ・「特活力 評価の観点」を参考にしながら、自分のよいところや苦手なところを振り返りましょう。
- ・問題文を見ながら、自分の答えを振り返りましょう。

「特活力 評価の観点」①～⑧の項目で、あなたの行動や考えを評価したものです。

- ・それぞれの項目の内容をよく読んで、あなたのよいところや苦手なところを見つけましょう。

色が塗られているところは、今のあなたの考えや行動。点線は、あなたが理想とする考えや行動です。

- ・あなたが理想とする考えや行動に、今のあなたがどれだけ近づけているのか、2つのグラフを比較してみましょう。また、どうしたら近づけるのか考えましょう。
- ・あなたが理想とする考えや行動の評価が低いときは、問題文を読み直して、それぞれの場面でのように考えたり行動したらよいのか、もう一度考えてみましょう。

特活力テスト 個人票

学年 20 年 1 月 30 日 期 別 部 別

テスト結果

項目	自己理解	他者理解	協調性	適応力	規範意識	表現力	コミュニケーション	問題解決力
①自己理解	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★
②他者理解	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★
③協調性	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★
④適応力	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★
⑤規範意識	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★
⑥表現力	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★
⑦コミュニケーション	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★
⑧問題解決力	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★

あなたの考え・行動

3つの力

項目	自己理解	他者理解	協調性
自己理解	★★★	★★★	★★★
他者理解	★★★	★★★	★★★
協調性	★★★	★★★	★★★

3つの活動

項目	自己理解	他者理解	協調性
自己理解	★★★	★★★	★★★
他者理解	★★★	★★★	★★★
協調性	★★★	★★★	★★★

特活力 評価の観点

項目	自己理解	他者理解	協調性	適応力	規範意識	表現力	コミュニケーション	問題解決力
①自己理解	自分のよき点や、性長等について理解したり、自分の将来にたいする夢や希望を持っているかどうかについて理解する。							
②他者理解	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。						
③協調性	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。					
④適応力	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。				
⑤規範意識	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。			
⑥表現力	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。		
⑦コミュニケーション	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	
⑧問題解決力	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。	相手の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として感じることから理解することを目指す。

「特活力 評価の観点」の3領域で、あなたの行動や考えを評価したものです。

クラス・委員会・行事の3つの場面でのあなたの行動や考えを評価したものです。

- ・★の数が多いほど高い評価となります。最高は★★★★★。
- ・それぞれの場を想像しながら、自分を振り返りましょう。

学校生活で身に付けてほしい8つの力（3領域8項目）です。特活力テストは、この評価の観点をもとにつくられています。

(4) 振り返りの方法プリント (生徒用) No.2

特活力テスト「個人票」の活用の仕方 No.2

- ・「振り返り1」を記入後、先生と保護者にアドバイスをもらいます。このアドバイスを生活に生かせるように、「振り返り2」をまとめましょう。

特活力テストの結果を意識しながら、あなたの「よいところ」「変えたいところ」等を考えてみましょう。

- ・「特活力 評価の観点」を参考に、考えましょう。

<書き方 例「得意なこと」>
自分の気持ちや考えを相手に受け入れられるように話せる。

<書き方 例「苦手なこと」>
自分の気持ちや考えを適切な手段で相手に伝えることが苦手だ。

先生や保護者からのアドバイスをしっかりと読んで、これからの生活に生かせるようにしましょう。

思ったことや特活力について考えたことをまとめましょう。

振り返り 1

特活力とは、あなたがこれから生きていく上でとても大切な力です。自分や周囲の人のことをよく知ったり、約束が守れたり、仲間と協力したり...という8つの力を身につけることで、より豊かな生活を送ることができます。特活力テストの結果や自分の振り返り、なりたて自分の姿をイメージして、よりよい自分づくりをしていきましょう。

自分の姿

私のよいところは、得意なこと

私の変えたいところは、苦手なこと

振り返り2

先生や保護者からのアドバイスをしっかりと読んで、これからの生活に生かせるようにしましょう。

思ったことや特活力について考えたことをまとめましょう。

「特活力 評価の観点」をもとに、なりたて自分の姿をイメージしましょう。「変えたいところ」だけでなく「よいところ」をさらに伸ばしていけるように考えましょう。

- ・特活力は①から⑧に向かって徐々に難しい力となっているので、「①の力を生かして、②の力を伸ばしていく。(②の力を付ける。）」とすると、書きやすいです。

<書き方 例>
周囲と協力できるところが自分のよいところなので行事や委員会などで協調性を生かしながら、自分の気持ちや考えを周りに伝えられるようになりたい。

「今の自分の姿」をどうやって「なりたて自分の姿」に変えていくのか、その方法を考えて、具体的に書きましょう。

<書き方 例>
〇〇(場面)では、口と△を意識して頑張っていく。
校内〇〇大会では、△ができるように計画的に練習する。

(5) 個票活用する方法プリント（教師用）

特活力テスト 個人票 個人票の活用の仕方（教師用）

学年 11
2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
名前

各観点のテスト結果を12点満点で表示しています。特活力の各項目を生徒がどれだけ生活に生かすことができているかを見取ることができます。4以下（達成率33%以下）の項目に対しては、支援が必要であると考えられます。

「今の自分の行動や考え」を青線、「理想とする行動や考え」を赤点線で達成率を表示しています。青線から、生徒の特活力の「思考・判断・実践」、赤点線から「知識・理解」を見取ることができます。生徒には、「今の自分」と「理想の自分」を比較させ、普段の行動を振り返らせます。

テスト結果「今の自分」の特活力の3領域で評価したものです。★が多いほどよい評価となります。

生徒指導要録の特別活動評価項目で、「今の自分」を評価したものです。★が多いほどよい評価となります。

「特別活動で養われることが期待される4つの能力」（学習指導要領解説）・「キャリア教育で確実に育成しなければならない基礎的・汎用的能力」（キャリア教育の手引き）をもとに作成した特活力の評価の観点です。特活力テストは、この観点をもとに出題・採点を行います。

観点	自己理解 【自分のことを知る力】	自己のよきや悪き、得意等について理解したり、自分の体験として同じような事や希望を持っているかなどについて理解する力。
①	自己理解 【自分のことを知る力】	自己のよきや悪き、得意等について理解したり、自分の体験として同じような事や希望を持っているかなどについて理解する力。
②	他者理解（共感性） 【他者のことを知る力】	他者の体験及び感情等について理解したり、自分の体験として同じように感じることができる力。
③	協調性 【周囲と協力する力】	相手との人間関係を円滑に築こうとする態度で、共通の目標に向かって行動することができる力。
④	適応力 【状況変化などに対応する力】	状況及び変化などに対して、自ら主体的、意欲的に働きかけ、変化することにより、調和のとれた良好な人間関係や生活環境を築くことができる力。
⑤	コミュニケーション能力 【他者と円滑に関わる力】	他者の気持ちや考えをきちんと受け止め、理解しながら、自分の気持ちや考えを相手に伝え、よい関係を築くことができる力。
⑥	問題解決能力 【困難を乗り越える力】	身の回りに起こる問題や課題に対して、解決のために考えたり行動したりすることができる力。

振り返り 1

特活力とは、あなたがこれから生きていく上でとても大切な力です。自分や周囲の人のことをよく知っていたり、約束が守れたり、仲間と協力したり...という8つの力を身に付けることで、より豊かな生活を送ることができる。特活力を使い、自分づくりをしていこう。

左ページのテスト結果をもとに、「よいところ」・「変えたいところ」を分析させます。「評価の観点」をよく読ませ、特活力に対する意識を高めてから書かせること、より具体的に振り返りができます。

なりたいたいの自分の姿を具体的にイメージさせます。「変えたいところ」だけでなく「よいところ」をさらに伸ばしていけるように考えさせましょう。

「今の自分」をどのようにして「なりたいたいの自分」に変えていくのか、その具体的な方法を考えさせましょう。

そのために取り組むこと

振り返り中に、個人面談や机間支援により、個別にアドバイスをしましょう。

今の自分の姿

なりたいたいの自分の姿

再考・修正・追加

まとめ

先生から

保護者から

振り返り 2

テスト結果とは別に、教師から見た生徒の特活力について記入するとよいでしょう。生徒の実態に応じて、振り返り1の前または後に記入します。（保護者より先に記入）

保護者が特活力を理解していないと、効果的なアドバイスを記入することができません。三者面談で返却するなどしっかりと保護者に説明することが大切です。別紙の保護者通知を利用してよいです。

教師や保護者のアドバイスをもとに、特活力テストを振り返らせませう。周囲の大人の思いを受け止めた上で、なりたいたいの自分の姿を再考・修正・追加させましょう。

(6) 保護者欄の記入のお願い

保護者 様

特活力テスト 保護者欄 記入のお願い

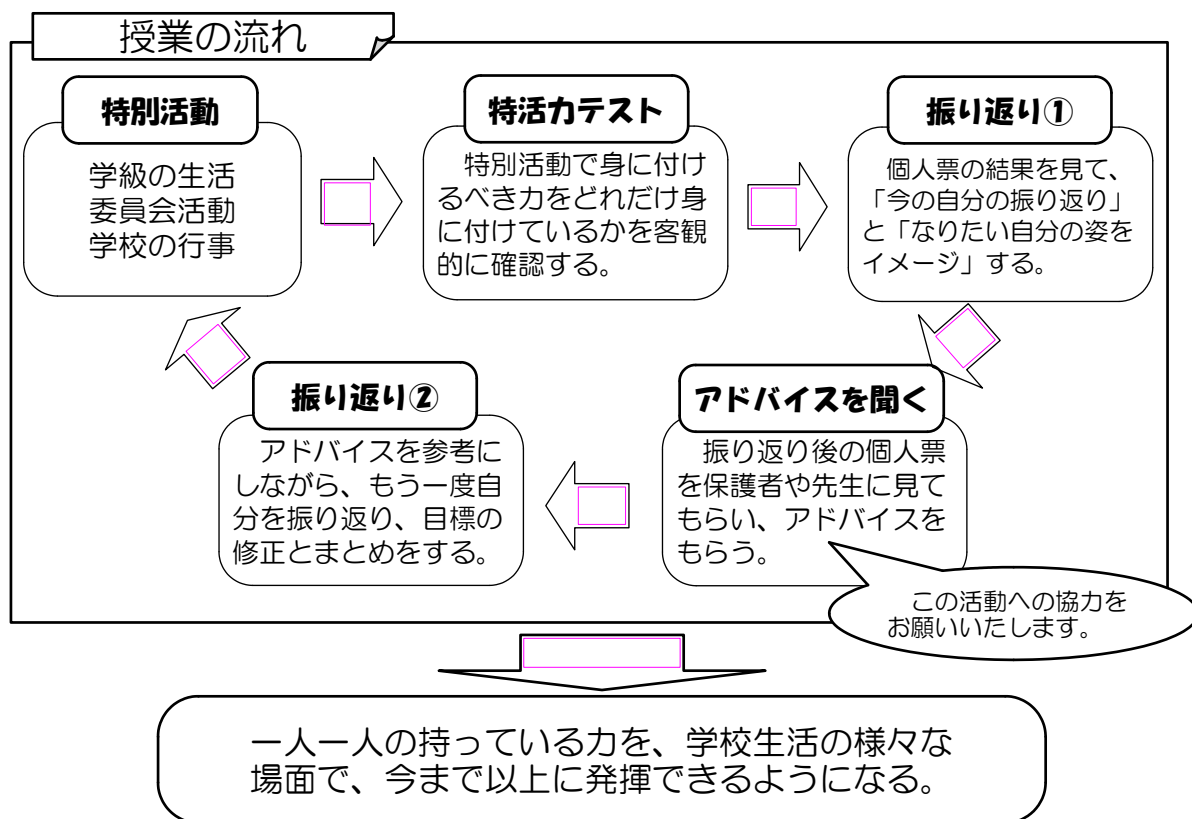
〇〇市立〇〇中学校
〇〇 〇〇

日頃より、〇〇市立〇〇中学校の教育活動にご理解とご協力いただき、ありがとうございます。

本校では、学校生活の様々な活動を通して、生徒に人間としての生き方や社会の中で自己を生かす能力を身に付けさせたいと考えています。そこで、中学校版「特活力テスト」を実施し、自分のよいところと変えたいところに気付き、自分を伸ばしていきたいという意欲と目標とする具体的な自分の姿イメージするための学習を行っています。

中学校版「特活力テスト」は、学校生活の様々な場面で「自分が現在どのように行動しているか。」「どのように行動できるようになるとよいのか。」を考えることで、生徒の判断力や価値観を養い、生き生きと学校生活を送れるようにすることを目的としています。

先日、各クラスで実施した「特活力テスト 個人票」を本日、お子さんに返却しましたので、『保護者から』欄に記入後、担任までご提出ください。



※ お子さんに「こんな大人になって欲しい。」「中学校生活でこんなことをがんばって欲しい。(身に付けて欲しい。)」「こうするとよい。」など、普段の生活や特活力テストの結果から、アドバイスをしていただけたら幸いです。

＜参考文献＞

- ・『学級の雰囲気と自己肯定感を把握する質問紙（C＆S質問紙）』 群馬県総合教育センター
- ・河村茂雄 著『Q－U 楽しい学校生活を送るためのアンケート』 図書文化
- ・青木孝頼、真仁田昭、内海静雄、牧野禎夫 著『HUMAN III 新道徳性検査（中学校用）』 図書文化